

## 令和2年度学校保健講習会及び薬物乱用防止教室講習会報告

千葉県学校薬剤師会  
常任委員 宮代和幸

11月には、暖かい11月8日(日) TKP ガーデンシティ千葉で学校関係者11名・学校薬剤師167名の先生方が出席するなか午後1時から開催されました。

まず初めに、桐田寿子先生より「子どもたちの命を守るために～ASUKAモデルへの想い～」と題して講演がありました。

お子様であった明日香さんの紹介から始まりました。年齢11歳・性別女性・身長164.5cm・体重49kg・運動会の徒競走6年間1位・好きな言葉は「ありがとう」・大切なもの「家族と友達」・幸せなことは「私が生まれたこと」とお話しするような娘さんだったそうです。

## 【事故の概要】

平成23年9月29日さいたま市立日進小学校で16時4分頃、駅伝の課外練習中1000m走を走り切ったのちその場で倒れ、けいれんを起こし、複数の教員の呼びかけに反応をしめさなかった。16時8分頃保健室に担架にて搬送し、救急車を要請した。救急隊が到着するまでの約11分間、保健室にあったAEDの使用を含めた救急処置は行われていない。16時15分救急隊到着後、救急救命士により心肺蘇生が開始されたが心肺停止状態のまま、救急車で搬送された。病院では治療が継続されたが、翌9月30日に死亡した。

## 【事故対応の問題点】

AEDが心電図を自動解析する機能を持っていることを認識していなかった。倒れた人を継続して観察する人がいなかった。救急車が到着するまでの11分間、ただ様子を見守るのみであった。心停止であったことを職員が最後まで分からなかった。脈あり、呼吸ありとの情報から安心してしまい、呼吸が死戦

期呼吸であることに気が付かなかった。

さいたま市は分析結果をもとにし、体育的活動時等に特化したテキストを作成しました。内容は、反応(意識)・呼吸の確認など心停止の判断をする際に「判断に迷ったり、わからなければ、胸骨圧迫とAEDの使用に進む」とすること。心停止への対応策は、迅速な対応が必要なため「その場で」救命措置を開始し、「その場で」携帯電話にて救急車要請を迅速に行う。教職員は定期的に重大事故発生対応訓練と心肺蘇生法研修の実施、そして児童生徒へ救命教育を継続することで、危機管理への意識や資質の向上につなげられます。

「明日香のような事故が二度と繰り返さない。」という桐田先生の想いが行政を動かしたのではないのでしょうか。このテキストが教職員はもとより、全国の方々に広く活用されることを期待します。

続いて、千葉県健康福祉部薬務課麻薬指導班の春田洋平先生より「薬物乱用の状況及び行政の対応について」と題して講演がありました。

覚醒剤事件の検挙人員は、令和元年で薬物事犯の検挙人員の64.2%を占め、その割合は平成24年以降減少しています。大麻事犯の検挙人員は、令和元年で薬物事犯の検挙人員の32.3%を占め、その割合は平成25年以降増加しているそうです。覚醒剤事犯検挙人員構成は、令和元年で暴力団が43.5%を占めています。覚せい剤は再犯率が高く令和元年で66.3%でした。又、大麻では、令和元年で初犯が77.6%で、30歳未満の初犯者がほとんどである。大麻を始めて使用した経緯及び動機は、好奇心・興味本位が最も多く、大麻に対する危機(有害)性の認識はなかったようです。理由は、合法的な国であると友人や知人やインターネットから入手できるなど

SNS からの情報源を鵜呑みにしていることが挙げられます。平成 30 年に第五次薬物乱用防止五か年戦略が出されました。

<目標>

1. 青少年を中心とした広報・啓発を通じた国民全体の規範意識の向上による薬物乱用未然防止。
2. 薬物乱用者に対する適切な治療と効果的な社会復帰支援による再乱用防止。
3. 薬物密売組織の壊滅、末端乱用者に対する取締りの徹底及び多様化する乱用薬物等に対する迅速な対応による薬物の流通阻止。
4. 水際対策の徹底による薬物の密輸阻止。
5. 国際社会の一員としての国際連携・協力を通じた薬物乱用防止。

千葉県の薬物乱用防止対策は令和元年度実績で、薬物乱用防止指導員 423 名が登録されています。街頭啓発活動 137 回・指導員研修会 22 回・青少年保護育成者に対する講習会 50 回・学校等への巡回指導 55 回・広報車による啓発活動 11 回など薬物乱用防止に尽力しています。又、薬物乱用防止啓発用のポスターの募集や不正大麻・けし撲滅運動 5 月～6 月やダメ・ゼッタイ普及運動 6 月 20 日～7 月 19 日や麻薬・覚醒剤乱用防止広報強化月間 2 月や啓発資材の貸出と配布等を行っています。

学校薬剤師は薬物乱用防止教室の講演を依頼されるかもしれませんが、その際にはしっかりと対処していかななくてはと感じた講演でした。

短い時間ではありましたが、多くのことを学べ有意義な研修会となりました。